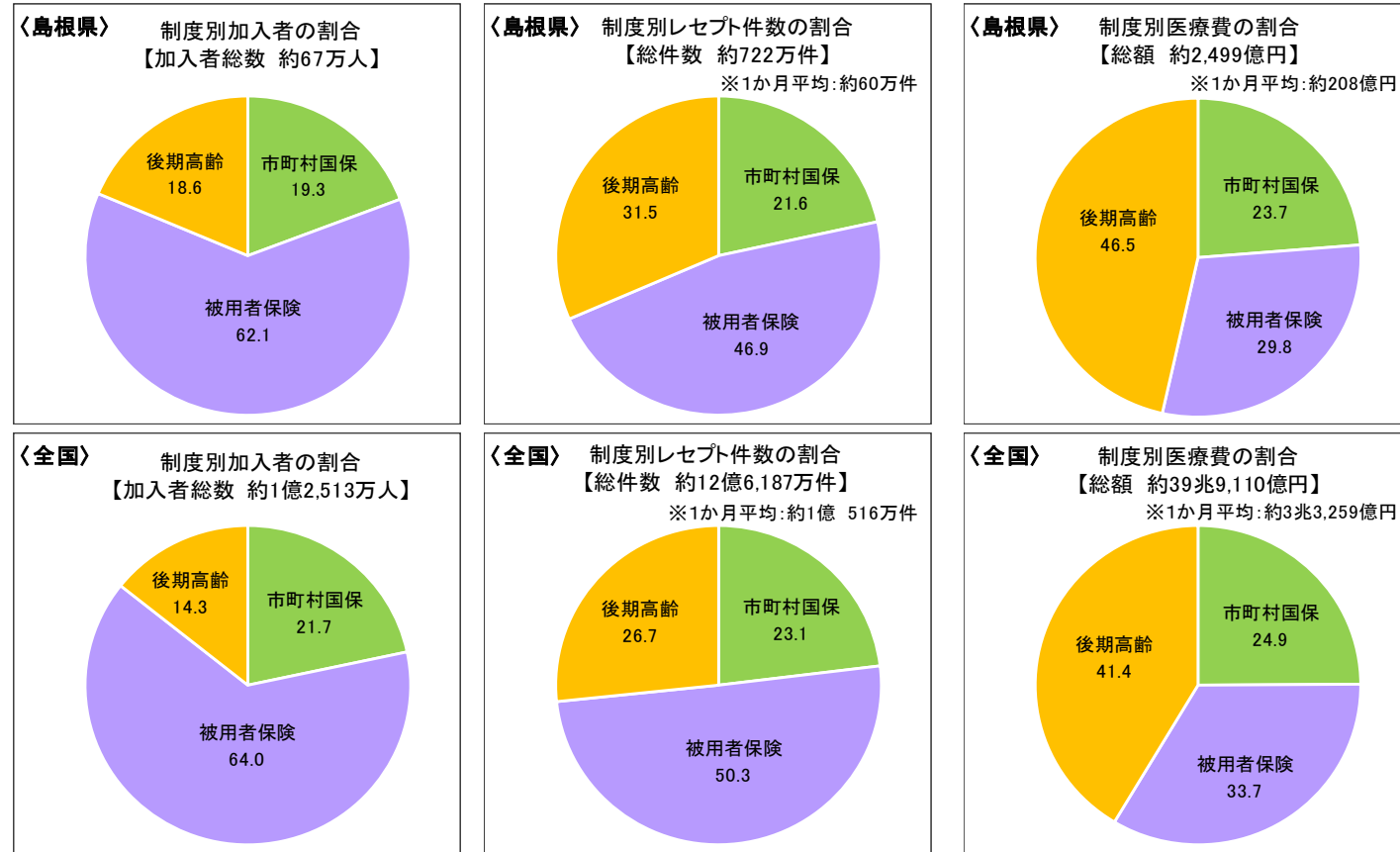


2019年度(平成31・令和元年度) 島根県の医療費等の状況について (厚生労働省提供「医療費適正化関係のデータセット(平成31年4月～令和2年3月診療分のNDBデータ)」をもとに分析)

※被用者保険(被用者保険及び国民健康保険組合)については、医療機関所在地(都道府県)別の集計値から加入者の住所地(都道府県)別が推計されている

1. 加入者数、レセプト件数、医療費 (島根県と全国)



- 島根県のNDBデータにおける加入者数は約67万人で、これは島根県の2019年推計人口(約67万人)の99.6%。
- レセプト件数は、約722万件(1か月平均:約60万件)。被用者保険が最も高い割合を占めている。
- 医療費の合計は約2,499億円(1か月平均:約208億円)。後期高齢者が最も高い割合を占め、レセプト件数に占める割合を大きく上回っている。

3. 疾病別1人当たり費用額の状況(中分類 上位11疾病) (島根県と全国)

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 |
|-------------|-----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (制度合計) 男女合計 | 高血圧性疾患 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 糖尿病 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | その他の心疾患 | 骨折 | 脳梗塞 | その他の消化器系の疾患 | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | その他の神経系の疾患 |
| (制度合計) 男性 | 高血圧性疾患 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 糖尿病 | その他の心疾患 | その他の消化器系の疾患 | 脳梗塞 | 虚血性心疾患 | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> |
| (制度合計) 女性 | 高血圧性疾患 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 骨折 | その他の心疾患 | 糖尿病 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | 関節症 | 脳梗塞 | その他の消化器系の疾患 | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 |
| (制度合計) 男女合計 | 高血圧性疾患 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 骨折 | 糖尿病 | その他の心疾患 | 腎不全 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 脳梗塞 | 分類できない疾病 | その他の消化器系の疾患 | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 |
| (制度合計) 男性 | 高血圧性疾患 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | 糖尿病 | その他の心疾患 | 脳梗塞 | 歯肉炎及び歯周疾患 | その他の消化器系の疾患 | 分類できない疾病 | その他の神経系の疾患 | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 |
| (制度合計) 女性 | 高血圧性疾患 | 骨折 | 歯肉炎及び歯周疾患 | その他の心疾患 | 糖尿病 | 分類できない疾病 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 関節症 | 脂質異常症 | 脳梗塞 |
| 市町村国保(男女合計) | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 高血圧性疾患 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | 糖尿病 | 歯肉炎及び歯周疾患 | 分類できない疾病 | その他の神経系の疾患 | その他の心疾患 | 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> | その他の消化器系の疾患 |
| 被用者保険(男女合計) | 歯肉炎及び歯周疾患 | 高血圧性疾患 | 糖尿病 | その他の消化器系の疾患 | その他の悪性新生物<腫瘍> | その他の神経系の疾患 | 分類できない疾病 | 喘息 | 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍> | 腎不全 | その他の損傷及びその他の外因の影響 |
| 後期高齢(男女合計) | 高血圧性疾患 | 骨折 | その他の心疾患 | 脳梗塞 | その他の悪性新生物<腫瘍> | 腎不全 | 糖尿病 | 分類できない疾病 | アルツハイマー病 | その他の消化器系の疾患 | その他の呼吸器系の疾患 |

※島根県の集計では「分類できない疾病」が上位に入っているため、参考として11位までを記載した。

【データセットにおける疾病分類コードの割り当て】

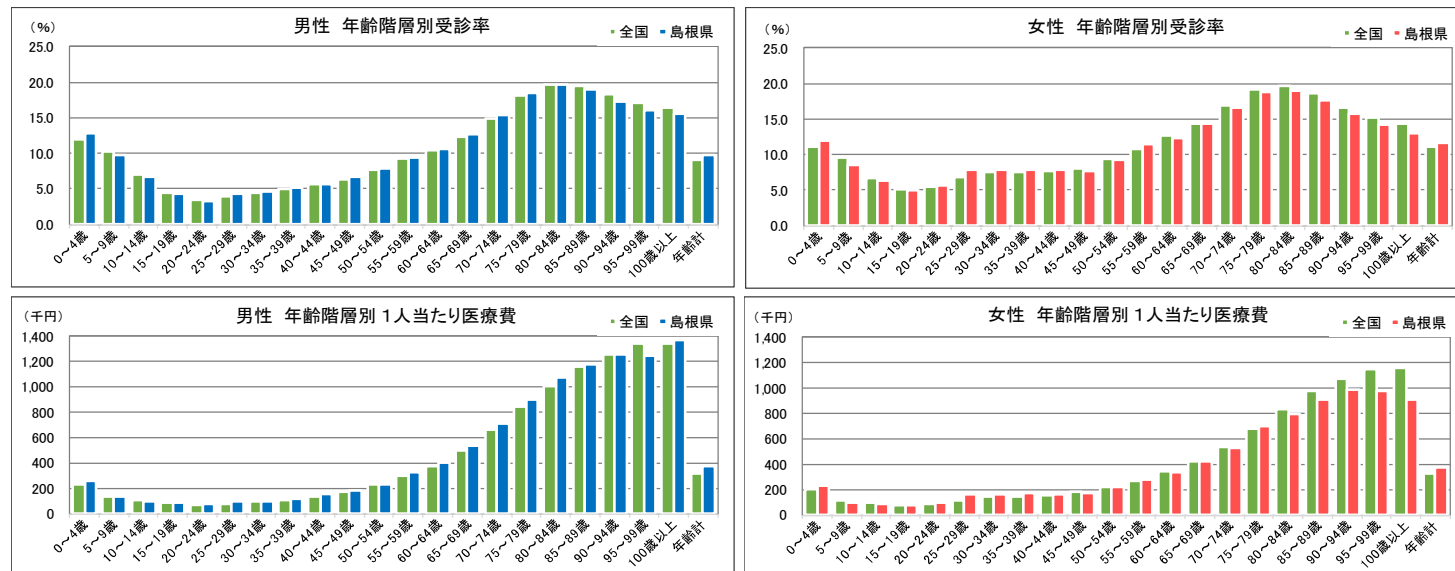
※レセプトに記載された傷病のうち、主傷病のフラグが付与されたものを主傷病として採用。

主傷病のフラグが複数付与されている場合には、その中で一番上に記載されたものを主傷病として採用。主傷病フラグが1つも付与されていない場合には、「分類できない疾病」として集計されている。

※1レセプト内で主傷病を決定し、主傷病からICD10コードを求め、「社会保険表章疾病分類」と突合せて疾病分類を決定。

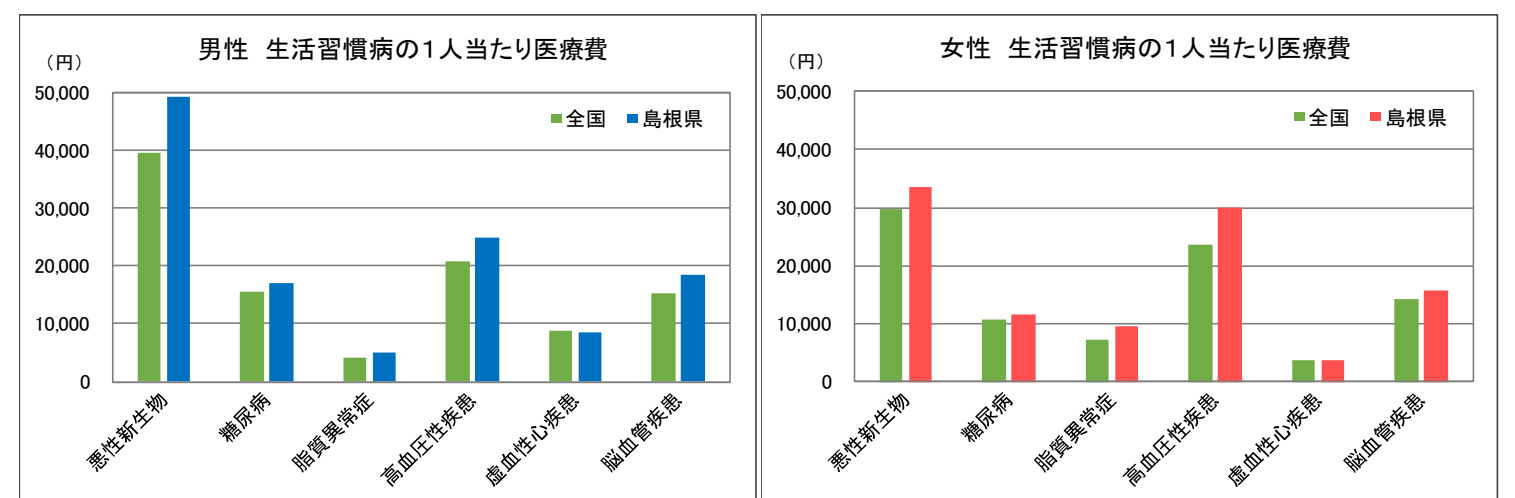
- 制度合計では、男性、女性とも「高血圧性疾患」が1位となっている。全国と比較すると、2位に男性では「その他の悪性新生物(腫瘍)」、女性では「骨折」が入っている。
- 制度別にみると、国保は「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」、被用者保険は「歯肉炎及び歯周疾患」、後期高齢は「高血圧性疾患」が1位となっている。

2. 医療費諸率(保険者種別計) (島根県と全国)



- 受診率は、島根県、全国ともに15～79歳で男性より女性が高い。島根県と全国を比較すると、男性は0～4歳と25～79歳で全国より高いが、女性は0～4歳と20～44歳、55～59歳の若年層で全国より高くなっている。
- 1人当たり医療費は、島根県では20～44歳、全国では20～49歳で男性より女性が高いが、その他の年代では男性が高い。島根県と全国を比較すると、男性はほとんどの年代で全国より高い。一方、女性は、20～59歳の若年層を中心に全国より高くなっている。

4. 生活習慣病1人当たりの医療費の状況 (島根県と全国)



※次の分類コードを生活習慣病と定義し、集計。

悪性新生物(0201～0210)、糖尿病(0402)、脂質異常症(0403)、高血圧性疾患(0901)、虚血性心疾患(0902)、脳血管疾患(0904～0908)

- 生活習慣病1人当たりの医療費を男女別に比較すると、島根県、全国ともに、「脂質異常症」と「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾患は男性が高くなっている。
- 島根県と全国を比較すると、男性は虚血性心疾患以外が、女性はすべての疾患で全国より高くなっている。島根県と全国では年齢構成が異なるためその影響もあると思われるが、『2. 医療費諸率』より、島根県の1人当たり医療費は若年層で高い傾向が見られるため、今後は、年代別の疾患別医療費の特徴を見ていく必要がある。